

研修で
学校が
変わる

特別支援教育支援員研修 まとめ

令和3年7月9日（金）

Web会議による遠隔研修（会場校）



「発達障害のある子どもの 理解と支援の実際」

講師 梅田 真理 氏（宮城学院女子大学 教授）

【研修のねらい】

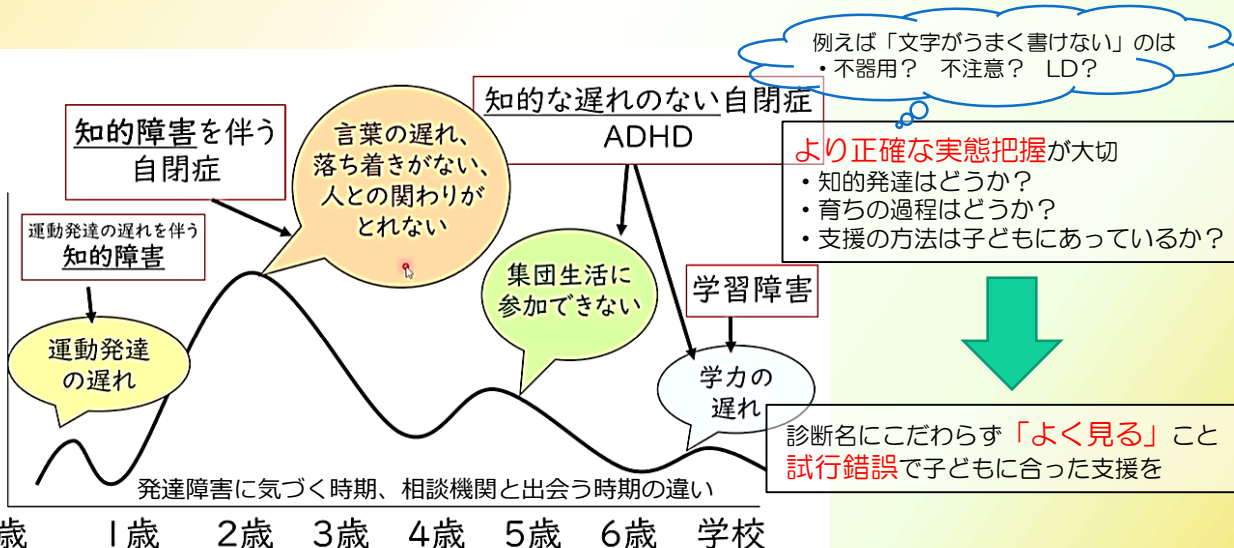
- 一人一人の教育的ニーズを理解し、日常の支援に活かす。

発達障害は、
たくさんの障害の総称

病气やけがのように治療
できるものではない

支援員がいつまでも寄り
添えるわけではない

一人一人やりやすい方法を
見つけられるように
育てることが大切



得意なこと、強い力は何？
強い自分を活かす

周囲の資源や援助をうまく利用して
自己有用感を高める

自立に向けて

集団で育てよう！
通常学級での居場所づくりを

ちょっと早めに、選択肢を多めに
自分の特性を活かせる進路選択を

梅田先生の講義がとても
わかりやすかった

少人数で情報交換できて
ありがたかった

対面よりもリラックス
して臨めた気がする

これからも支援員同士
交流していきたい

明日への想い

- ・ 日頃より個々をしっかりと観察し、困り感を軽減、解消するための方法を試行錯誤しながら一人一人にあった方法を提案できるようでありたい。
- ・ それぞれの子どもが今、何ならできか？ どこまで出来てどこから難しいか？ なぜやりたくないか？ といったことを確認していき、出来ることを増やしたい。
- ・ 自分自身の価値観に当てはめようとしてはいいかかを振り返りながら、子どもたち一人一人の自尊感情を高めていけるような支援の仕方を皆で共有しながら考えたい。

- ・ 私たちはずっとその子と一緒にいられるわけではないという当たり前のことに気づかされ、今後のことも見据えた支援が必要だと思えるようになった。
- ・ 支援をする時に、その場だけのめあての達成だけでなく、今後自立解決ができるような手立てを考えていきたい。
- ・ 日々気になっていた児童への対応場面だけでなく、他の児童の支援にも生かしていきたい。
- ・ 学級が居心地よく、互いに成長し合える場所となるよう担任や他の児童とつなげていきたい。